

労働災害をなくするために

神岡営林署 松下利明

1. はじめに

当署における過去10カ年の災害発生件数は68件で、昭和42年度には、生産関係で死亡災害が発生し、7件もの災害が、障害補償の対象となっており、この間、無災害を達成した年度は皆無となっている。更に昭和49年度には、災害発生件数9件、強度率は4.47という名古屋営林局管内No.1の、量、質ともに最悪の状態となり、昭和50年度と昭和51年度の2カ年間で、不名誉な安全管理重点営林署に指定された。これを受けて当署では、過去の災害の発生傾向を分析し、どこに安全活動の問題点があるのか、みんなで反省し、これに対する対策をたて、みんなで決めた対策を確実に実践すべく努力し、この汚名返上につくしてきた、この取組みの一端をここに紹介し、今後の安全活動の一助ともなれば幸いである。

2. 安全活動の問題点

当署における、過去の災害傾向と、安全活動実施上の問題点は、次のとおりであると反省した。

(1) 過去の災害発生傾向

過去10カ年の災害発生の傾向は、第1表に示すとおり、原因別では行動災害が、63件で全体の92%、事業別では生産関係が47件で全体の69%を占めていることである。

更に昭和49年度には生産関係2件、造林関係4件、治山関係1件、スキー大会等2件と災害の発生が、各事業、各所属に広がり、強度率も、第2表のとおり4.47と非常に高くなり、全署的に安全対策の再検討が求められた。

(2) 安全活動実施上の問題点

過去の災害状況が示すように、安全活動実施上の問題点として、①計画が総花的であった、②決めたことが守られない、③計画が生きていない、という点が反省された。

(3) 問題点のまとめ

以上の問題点をつきつめると「いくらい安全対策をつくっても、それを実践しない」という致命的な欠陥があることに気がついた。

なぜ守れないか、守ることができないか、ということをごんごん究明していくと、それは人命尊重ということが、いかに大切であるか、ということの自覚が不足し、自ら対策を創造しようとする意欲や、障害を取り除こうという積極性に欠け、また一番の問題点は何か、弱点はどこかということとを常には握し、着実にこれを克服していくという指導性にも欠けていることに問題があったと反

省した。

3. 対 策

以上の反省の上に立って、決めたことは必ず守る。決める場合には押しつけにならない。押しつけにならないようにするためには、みんなに、考えさせ、計画に参画させる。

そのためにはなぜやらなければならないかということ、とことんまで理解させて、やる気を起させるリーダーシップを発揮する。やることの合理性と説得力を備えて、ポイントをしばった対策を確立する。そしてひとりひとりが自分のための計画であるという自覚をもって、全員参加の安全活動を推進すべきであるという結論に達した。

4. 3つの安全目標と3つの重点実施事項

昭和50年度、昭和51年度の安全目標は

- ① 行動災害の絶滅を期する。
- ② 職業性疾病の予防に努める。
- ③ 交通災害を防止する。と決め、この目標達成のため、
①ハツ!!としたことは必ず通報し、活用をはかろう。②TBMは必ず実行し、作業と安全の密着をはかろう。③林業体操は必ず実行し、内容の充実をはかろう。という、3点にポイントをしばり活動を行った、そのうちのひとつであるハツ!!としたことの通報の活動状況の取組みについてのべる。

5. 具体的実践活動

300点検活動は、ひとりひとりが不安全状態、不安全行動を点検し、自ら対策を考え、自分も、他人にもケガをさせないという全員参加の安全活動に有効であり、この活動を完全に行うことが、いままでのべてきた、種々の問題点を解消する唯一の手段と考え実践した。

- (1) まず趣旨の徹底を図った。

この活動の「やる気を起させる」ために、300通報活動が、できない問題点(第3表)を推進員研修で、2年間にわたって討論し、問題点の解消につとめた。その中の一つである用紙の改善については、第4表、第5表のとおり改善し、実践の障害となる問題点の解消につとめた。またこの活動を持続するために、現場主任から実施状況をは握したり、安全大会や推進員研修で、各所属ごとの取組状況を発表させ、TBMで活用する。安全日誌で協力をよびかける。広報紙でPRする。通報されたものを分析し現場に返す等の活動を行い、この活動の趣旨の徹底を図った。

- (2) 実施方法の確立を図った。

それぞれの現場にあった実施方法を話し合いの中から決めさせ①通報をまとめる人、②用紙の置き場所、③通報ルート等を決めて活動した。

(3) 提出目標を決めた。

不安全状態、不安全行動をより少なくするためのハツ!!と通報の提出目標を①月に一人何件、②昨年以上、③週に一人何件というように決めて活動した。

(4) 通報状況

第6表のとおり昭和50年度、昭和51年度と飛躍的に通報件数を増加させることができた。

(5) 通報の活用

提出された通報は①翌日のTBMの材料とする。②作業基準(対策)をみんなで考える③危険状態を未然に発見する。④安全意識の高い職場環境を醸成する。⑤仕事と安全の密着をはかる等に活用した。

(6) その他の活動

300点検以外の当署における特徴的な安全活動を掲げれば①現場の自主性を尊重した人の和に心がけた。②安全管理者が出来る限り現場に出よう心がけた。③家庭だよりを発行し、家族にも安全を呼びかけた。④安全日誌のラブレター方式により、直接現場に働く人と安全管理者の意志の疎通をはかった(第7表)。⑤林業体操を普及徹底するため、安全大会で講演を行い、パンフレットにし全員に配布したなどがある。

6 活動の成果

成果としては①昭和51年度の損失日数が28日となり強度率が激減したこと(第2表)。②造林関係が2年続きで無災害であつたこと。③金木戸製品事業所が12年振りに無災害を達成し、予定した生産量を確保したこと等があげられ、一番の問題点であつた計画が「実践されない」という点が解消される方向に向かったということである。

7. 今後指向すべき点

行動災害と生産関係に災害が多いということは、更に実践活動の定着化が必要であり、特に生産関係の仕事は、①作業環境がきびしい。②作業に危険が伴う。③セット作業である。④チームワークが必要ということから、より高い人命尊重の理念と、安全思想の普及をはかり、今まで以上に「自らが安全対策を考え、自ら実践する」形の安全活動への指向が必要となって来るものとする。

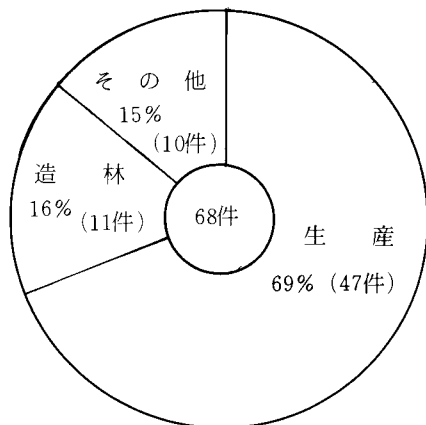
8. ま と め

安全活動にはこれが決め手だという特効薬はない。しかし、災害の防止は不可能でないはずである。人命を尊重するという基本理念に立脚し、ひとりひとりが自分を大切に、常に自分の弱点はどこかということに気がつかない、その弱点を補強して行くことの積み重ねが最大の安全対策と考える。

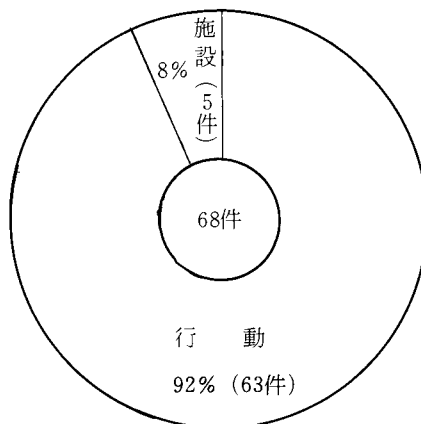
今後もこのような立場で安全活動を推進し、永年の悲願である無災害の達成に最大限の努力をして、いきたいと考える。

第1表

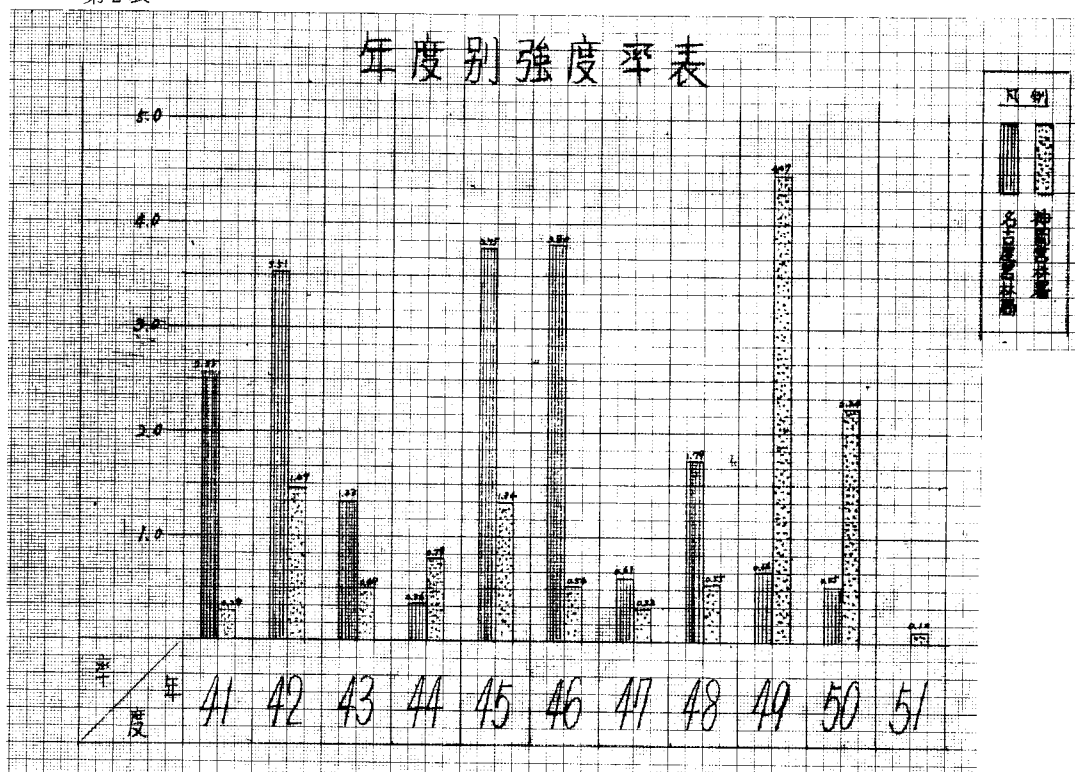
過去10ヶ年事業別災害発生件数



過去10ヶ年原因別災害発生件数



第2表



第3表

300卓検実施上の問題点と対策

問題点	対策
1. 書きたがらない	1. 推進員 推進の代弁するよう仕掛ける
2. どの程度のことばを教えてよいかわからない	2. 300種類の言葉をよく理解する州や町長と連携させる
3. はずかしい 何か言われる	3. 推進員 班長が率先して活動する
4. 推進員や当番が積極的でない	4. 提出目標を決める
5. 用紙になじみにくい	5. 安全箸は横のハッとしてくことを厭う
6. 自分で書かない 書くのが苦手	6. 老人が水でぬぐって書くよう指導する
7. 安全意識が低い	7. 人形人形をまくする
8. ハッとしてく どの時に書かない	8. 担当者を決める
9. 人の不安全を見ても注意をしない	9. 用紙を改善する
10. 書く機会がない 場所がない	10. 用紙の存在を明確にしておく
11. 活動の目的が理解出来ない	11. 動画を活用する
12. 全書書く気持ちのない者が居る	

第4表

300卓検様式の改善方向

問題点	改善方向
• 書きにくい	• 用紙を必要最低限にして簡潔化する
• 様式がはんざつ	• 様式の改善をなるべくOX式にする
• 片指が縦向き	• 様式の改善を段階化する
• なじみにくい	• 様式の改善を段階化する
• 簡潔にしてほしい	• 様式の改善を段階化する
• 必要のないところは省略	• 様式の改善を段階化する
• OX式の書きやすいように	• 様式の改善を段階化する
• 用紙が半分位に	• 様式の改善を段階化する
• 横書きにする	• 様式の改善を段階化する
• 片指がつかい	• 様式の改善を段階化する
• 考えなくてもよい 楽に記入できるように用紙	• 様式の改善を段階化する

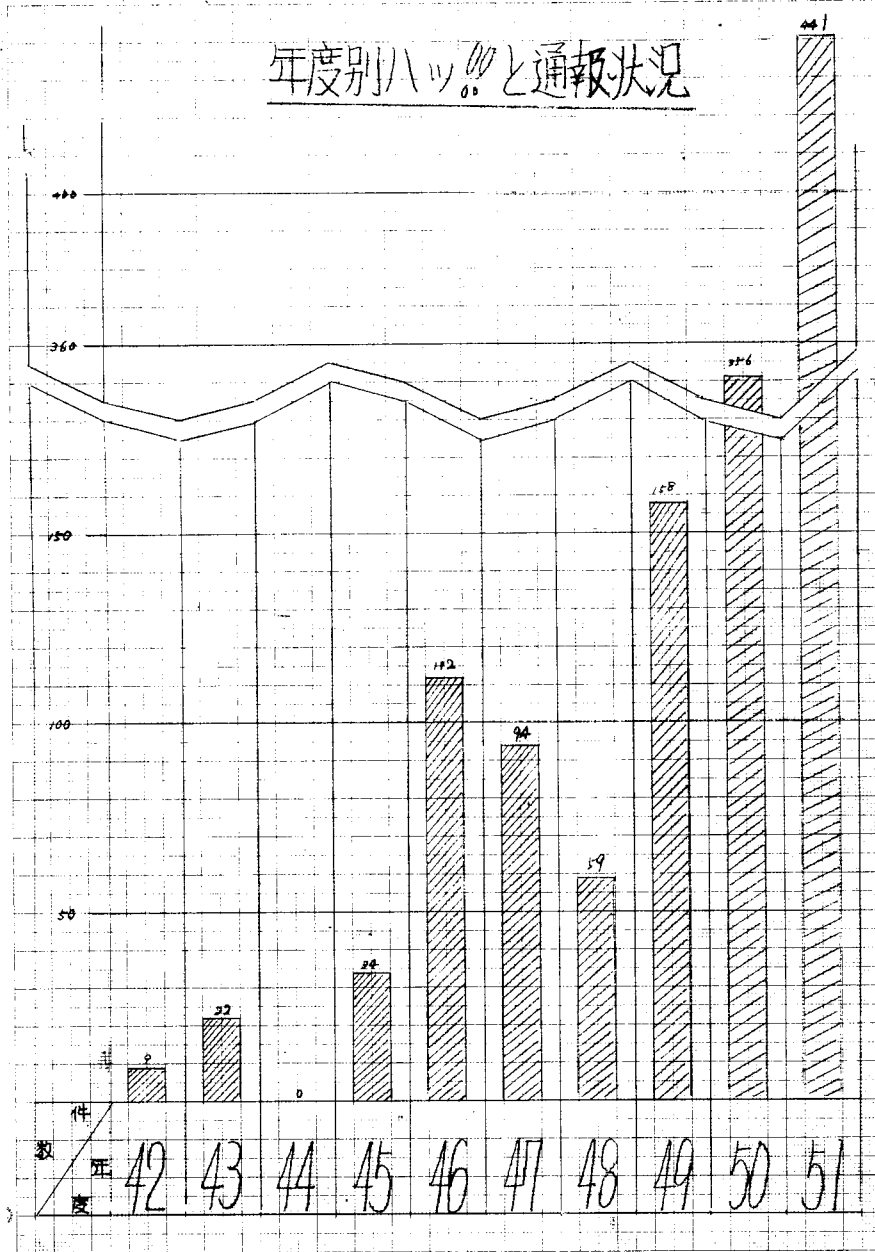
ハッ!としたことの通報

主任印

①性別 男 女	②年齢 才	③雇用区分 ④定員内 ⑤定期	⑥常用 ⑦臨時	⑧この仕事の 経験年数	年
(事故はいつありましたか)					
⑨年 月 日	⑩午前 午後	時 分 頃	⑪休日後	日	
⑫事故の あった ところ					
⑬天気 晴 曇り 小雨 つよい雨 雪					
⑭地表 しめっていた かわいていた あめのあと こおっていた					
⑮温度 非常にあつい むしあつい 普通 きむい 非常にさむい					
⑯事故のときのようす					
⑰原因はなんであると思いますか					
(そのとき、若しケガをしたならどれになると思いますか)					
⑱部位 頭 顔 眼 クビ 胸 背中 腰 腕 手 手指 足 カット 足指					
⑲ケガ 切断 切創 刺傷 スリキズ 骨折 脱臼 ネンサ ヤケド ウチミ					
⑳どうすればよかったですか					

第5表 { 回 覧 }

第6表



安全日誌に対処読者のはげしい言葉

No.

<p>○ 東茂住担当</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 300通報の対策を記入しよう。 ● 各社に仕事でも一声、声をつけて作業をしよう。 ● 山の仕事は足場に注意することが一番大切で、事故は力を極めるが、能率を上げていこう。 ● ゼムシがよくなるのを注意をいって下さい。 ● 社長の対話がよい。 <p>○ 船津担当</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 安全日誌が安全活動に役に立つよう内容を検討しよう。 ● 事故の結果の因果関係を記入するようには、TBMに実施する内容を記入しよう。 ● 安全に対する要項（要旨）を記入しよう。 ● 300通報を積極的に取組むよう記入して下さい。 ● 互に反省者に対する指導も大切で、雨の日も長くつ着用にかつ検診をいして下さい。 ● 作業のやり目、地物の変化に応じてTBMで注意をい。 <p>○ 森本担当</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 300通報を望む日のTBMで活用するようには、日誌にTBMで安全活動等を記入するようには、林道の検証を維持管理に努めて下さい。 ● 安全委員会が既成施設のないのが、ミニバス、ハチ、ズンに注意をいして下さい。 ● カシワ、ハチ、ズンに注意をいして下さい。 ● 作業安全日誌へのワーク管理が大切で、皆さんで決められた日、確実に実施しよう。 ● 作業する前日、ちゃんと取組をいしよう。 	<p>○ 刃下担当</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 車中の運動に気を付けていよう。 ● 作業現場の安全指導も指示をいよう（下をい）。 ● 山道の運転は必ず安全な場合、確認をい下さい。 ● 控室に安全指導の指示をいよう。 ● 山道利用者が安全対策をいよう。 ● 単独行動をする場合は行先を明確に（おま）をい。 ● 安全の現場はヒツクをいよう。 <p>○ 本郷担当</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 谷田の林道に於いて結果の感（感）を記入しよう。 ● TBMで安全の内容を簡単に記入して下さい。 ● 300通報の対策を記入して下さい。 ● 林道の検証を維持管理に努めて下さい。 ● ミニバスの運転は安全に気を付けていよう。 ● 備後仕事でも、安全活動は取り除きよう。 ● 貼りは、安全活動は取り除きよう。 ● 谷田谷田の注意の書き方をいよう。 ● 安全に対する要項、要旨を記入して下さい。 ● 主役との対話が必ず必要だと思います。 ● 者部、作業場のやり目、日誌の記入をいよう。 ● 安全日誌に於いて、安全活動の目録に記入をいよう。 ● 除けに、安全活動の記入をいよう。 <p>○ 長谷担当</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 安全日誌の記入欄を充実させよう。 ● 事故は結果の感（感）を記入しよう。 ● TBMで安全の内容を簡単に記入しよう。 ● 安全日誌は、安全活動の目録に記入をいよう。 ● 皆さんで決められた日、確実に実施をい下さい。 ● 300通報を積極的に取組むようには、TBMで注意をい下さい。 ● 人下りの現場は、安全活動の記入をいよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 現場に於いて、安全活動の記入をい下さい。 ● 仕事、安全の確保は、安全活動の記入をい下さい。 ● 事故の結果の感（感）を記入しよう。 ● 山道の運転は必ず安全な場合、確認をい下さい。 ● 控室に安全指導の指示をいよう。 ● 山道利用者が安全対策をいよう。 ● 単独行動をする場合は行先を明確に（おま）をい。 ● 安全の現場はヒツクをいよう。 <p>○ 柄尾担当</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人数が、作業の配置に気を付けて下さい。 ● TBMを作業現場に応じて適切に実施をい下さい。 ● 300通報の結果の感（感）を記入しよう。 ● 事故の結果の感（感）を記入しよう。 ● 車中の運動に気を付けていよう。 ● 毎日、安全活動の検証をい下さい。 ● 安全活動の結果を、安全日誌に記入をい下さい。 ● 安全活動の結果を、安全日誌に記入をい下さい。 ● 安全活動の結果を、安全日誌に記入をい下さい。
--	--	--

300通報 300-65 (85.12)

第 8 表

